

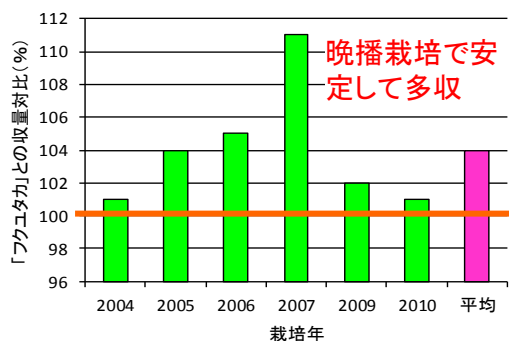
淡色味噌に好適で晩播栽培において多収の大豆品種「あきまる」

晩播栽培(7月播)において多収で、機械収穫に向き、ダイズウイルス病に強く、淡色味噌原料に適した大豆品種

研究開発の背景

- ・近畿および中国四国地域では白味噌・淡色味噌の生産および消費が多いものの、原料に好適な品種は限られている。また、本地域で発生するダイズウイルス病による減収や品質低下を回避するには、抵抗性品種の導入が不可欠。
- ・そこで、淡色味噌に適し、ダイズウイルス病に強く多収性の大豆新品種を開発する。

研究成果の内容



晩播栽培における「あきまる」の「フクユタカ」収量対比(%)



淡色味噌の比較

味噌の色が明るく照りがあり、色調が良い

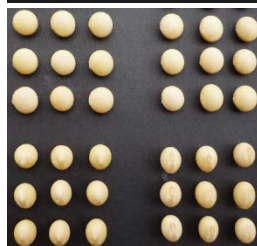
複数のダイズウイルスに抵抗性

ウイルス	あきまる	フクユタカ	サチユタカ
SMV-A	強	強	強
SMV-A ₂	強	弱	弱
SMV-B	強	強	強
PSV	強	弱	弱

注) SMVはダイズモザイクウイルス、PSVはラッカセイわい化ウイルスを表す。



最下着莢高が高い



あきまる フクユタカ
草姿と子実の比較

導入メリット

高品質大豆の安定生産

- ◎晩播栽培(7月播)において安定多収
→ 麦収穫後の大豆作でも収量確保
- ◎最下着莢高が高い
→ コンバイン収穫時の土混入による汚粒発生を回避、収穫ロス軽減
- ◎ダイズウイルス病に強い
→ 褐斑粒の発生を回避



*2014年度に広島県の奨励品種採用

期待される効果

- ・高品質大豆の安定生産・安定供給による需要拡大および大豆作拡大。
- ・国産大豆の味噌原料利用への促進。

導入をオススメする対象
関西以西の温暖地の大豆生産者など